

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 9月30日更新

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	総務部	課長名	財津公正
計画	施策	25	行政改革の推進		所属課	総務課	担当者名	末永大樹
体系	施策の柱	90	評価機能の確保		所属班	総務・男女共同参画班	(内線)	1217
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 1	事業連番 11184	根拠法令	地方自治法、地方税法 成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・固定資産課税台帳に登録された価格について、不服の申し出があった場合に、委員会の審査に付し、決定を得る事業である。 ・納税者の税に対する意識が高まってきていることから、今後、審査申出が増加してくる可能性がある。 委員は4名で構成され任期は3年となっている。
【業務の流れ】	固定資産評価審査委員会への審査の申出(納税者) ②形式審査(審査委員会) ③受理した場合、市長へ通知(審査委員会) ④弁明書の提出(市長) ⑤反論書の提出(納税者) ⑥書面審理(審査委員会) ⑦審査の決定(審査委員会) ⑧市長及び納税者に決定の通知(審査委員会)
【主な予算費目】	報酬・費用弁償・役務費
【意見や要望】	なし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	固定資産評価審査委員会の開催及び研修会参加	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年と同様
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回	予算の主な増減の理由
→ア: 委員会等開催数	人	
→イ: 審査申出をした人	人	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	審査会	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人
		→ア: 審査会委員数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な判断を下す	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件
		→ア: 審査の決定件数
		→イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
審査の決定件数(容認・棄却・却下)により、固定資産課税台帳に登録された価格が公平・公正な価格になっているか判断できる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標	ア	回	1	1	2	1	2	2	2	0	
	イ	人	0	0	0	0	0	0	0	0	
② 対象指標	ア	人	4	4	4	0	4	4	4	0	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	0	0	0	0	0	0	0	0	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	26	44	60	26	60	60	60	0
		(A)事業費計	千円	26	44	60	26	60	60	60	0
		(A)のうち指定経費	千円	15	23	30	15	30	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	1	2	2	2	0
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	35	35	40	30	40	40	0	0	
	(B)人件費計	千円	139	139	159	111	159	159	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	165	183	219	137	219	219	60	0	

事務事業名	固定資産評価審査委員会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 不景気な中、固定資産評価の申し立ては増える可能性がある。申し立てがあった場合は、報償費及び費用弁償の補正が必要になる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 適正な事務処理が行われている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似のものがないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審査会開催のための費用弁償・報酬であり、審査申出件数に左右される
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 審査会開催のための費用弁償・報酬であり、審査申出件数に左右される
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地方自治法、地方税法の規定によるものであり、受益者負担を求めるものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 法律に則った事務事業なので、役割分担できない。

3 評価結果の総括 (CHECK)

H26年度については、審査申出はなかったので、審査を伴う会議開催はしなかった。
通常の会議及び研修については各1回開催した

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						